一泉

発　行　所
〒921−8517 金沢市泉野出町３丁目10−10
石川県立金沢泉丘高校内
一 泉 同 窓 会
電　話（076）２４２−０２１１
ＦＡＸ（076）２１６−５６５６
2021（Ｒ３）．３．31　発行
E-mail : issen_knz@hotmail.com

ごあいさつ

一泉同窓会会長　中村太郎（写真）

一泉同窓会の皆様には日頃より会の運営に何かとご支援、ご協力を賜り、感謝を申し上げます。私はこの度清水前会長よりバトンを引き継ぎ、次期会長を拝命いたしました。特に本年度は新型コロナウィルス感染の拡大により、様々な感染予防に配慮しなければならず役員選任の案件も書面にての承諾となり、例年ならば10月15日の一泉同窓会総会の席上で皆様にごあいさつを申し上げるところでしたが、残念ながらそれも叶わずこの様な形でのごあいさつとなりましたことをお許し願います。

しかしながら、会長を拝命した以上は一泉同窓会の名をけがすことなく一生懸命会のお役に立てるよう努力いたしますので、皆様におかれましては今まで以上のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

一泉同窓会は２年後の2023年に創立130周年を迎えます。現下のコロナによる環境は周年や毎年の同窓会のあり方も含めwithコロナの新しい考え方を導入した同窓会運営を模索することが急務でありますが、基本は一泉同窓会の会員の皆様が誇りをもって集える交流のあり方を第一に考えてゆきたいと思っております。また、同窓の力が現役の諸君の学業や部活動の援助となるべく卒業生と一体となって一泉ブランドをしっかりと構築してゆく将来への礎を築いて行ければと思っています。

今後とも会員の皆様方のお力添えを賜りますよう再度のお願いを申し上げる次第です。

一泉同窓会の役員改選

第９代会長に中村太郎氏（泉丘35期）

物心両面での現役生支援訴え

任期満了に伴う一泉同窓会の役員改選が令和２年度創立記念日の10月15日までに行われ、第９代会長に泉丘35期の中村太郎氏が就任した。中村新会長は初会合で「誇りを持って集える同窓会を構築、物心両面から現役生を支援していこう」と訴えた。任期は10月16日から令和４年10月15日まで。（６ページに関連記事）

清水義博前会長は相談役に

役員改選では会長を退いた清水義博氏（泉丘22期）が新たに相談役となり、事務局顧問の中山一郎氏（10期）と副会長の岡能久氏（20期）が退任、昨年夏に急逝して欠員となっていた石山直哉副会長（35期）の後任に同期の鶴見恵理さんが就いた。このほか業務多忙のため２年前に副会長を降りた小倉一郎氏（40期）が復帰、新しく浦淳氏（36期）と鶴山雄一氏（51期）が副会長になった。これによって副会長は２人増の13人となった。また、会長を補佐する筆頭副会長は林隆信氏（22期）が継続して務めることになった。

役員改選方法については５月中旬開催予定の一中・泉丘・通信各期70人の代表委員会に提案予定だったが新型コロナウイルス禍で会議が中止となり、書面審査を行うことでで承認を得た。執行部は８月に清水前会長ら７人による「役員選考委員会」を設け、先ず会長候補に中村太郎氏を決め、本人の承諾を得た。次いで中村氏の意見を取り入れた役員候補を選出、再び代表委員会の署名審査を得て次の新役員が決まった。（○は新任、◎は再任）

◇会長　○中村太郎（35期）◇副会長　林隆信（22期）、温井伸（26期）、大砂雅子（同）、竹澤敦子（29期）、玉川昌範（31期）、至極明子（34期）、○鶴見恵理（35期）、澁谷英利（36期）、○浦淳（同）、北川雅一朗（39期）、◎小倉一郎（40期）、○鶴山雄一（51期）、笠松寿美子（通信41期）◇監事　広多清一（29期）、西井隆志（39期）◇相談役　普神貴行（一中56期）、小倉周一郎（７期）、蚊谷八郎（14期）、○清水義博（22期）◇事務局長　諸野普（同）

一泉同窓会基金寄付活動報告

◆収支報告（2020年３月末実績）

寄付累計金額　3,538,000円　（2019年10月より）
件数　39件

2020年度助成計画　合計額	3,545,340円
グローバル人材育成教育支援	1,845,340円
教育振興（SSH，SGH ほか）	900,000円
書籍購入	100,000円
国際交流活動助成	50,000円
遠征用バス購入積立金	500,000円
一泉賞	150,000円

◆寄付者の声

●娘は小児科医として子供達に寄り添って病気を治していくことに一生懸命でした。2017年10月42歳、志半ばで亡くなりました。「たくさん勉強しなさい」と甥っ子たちに言い、自分自身も死の間際まで学び続けた。故人の遺志が受け継がれ未来ある生徒さん達の勉学に役立てていただければと願っています。娘は泉丘高校卒業生だったことを誇りに思っていると思います。

●若い人達の国際的交流を通し、平和な世界の実現をと願いささやかな気持ちをこめました。

●日本が世界の主要国として生き残っていくためにはグローバル化がキー。それを担える後輩の育成に力を貸せることは先輩としての喜びです。

●今の自分があるのは、高校時代に世界を見るべきと背中を押してくれた教育があると思います。後輩の皆さんも頑張ってください。

◆活動報告

今年度は新型感染症対応のため休校措置や対外活動自粛措置がとられたことから基金助成対象として計画された多くの対外行事が中止となる中、実施された行事はオンラインにより行われた。なお、校内行事についてはほぼ例年通り実施された。

主な対外行事は以下の通り

(1)プリンストン大学生との交流（課題研究教育の一環）（７月７日）オンライン

(2) SSH・SGH コース課題研究成果発表会（７月29日）オンライン

(3)「社会人語る会（職業教育、リーダー養成教育の一環)」、「先輩に学ぶプレゼン術（進路検討や自己実現意欲を高めるための教育の一環)」(11月３日）オンサイト

一泉基金の助成事業

SG コース生がオンライン交流
米・プリンストン大生と英語で

母校・泉丘高校SG（スーパーグローバル）コース３年生とアメリカ・プリンストン大学の日本語専攻生とのオンラインによる初の交流会が７月７日に行われ、泉丘生たちは後日の英語による課題研究発表に自信を深めた＝**写真**＝。

同大学生が来校して行う交流会は平成28年から隔年で開かれ、今年は３回目だった。ところが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で来日がままならず、開催が危ぶまれていた。そこで、泉丘の片岡清志教諭らが夏休みの海外研修で世話になっている同大の徳増ゆかり日本語講師と共に、石川県国際交流協会の力添えも得てオンライン交流会が実現した。

「PII（プリンストン・イン・イシカワ）交流」と名付けられた催しは、７日の午前９時50分から１時間（現地時間６日午後８時50分から１時間）行われ、泉丘はSG コースの３年生39人が２～６人の８班に分かれて参加、プリンストン大側も25人が２～３人の８班で対応した。

初めの10分ほどは日本語による互いの自己紹介に費やし、後の会話は全て英語で、これまで生徒たちが積み上げてきた課題研究の「もったいない食事の消費」

や「プラスチックごみのリサイクル」など８つのテーマについて意見交換した。泉丘生は一人ひとりがパソコンを前にイヤホンマイクを身に着けて画面上の相手と太平洋を越えて対話を繰り広げ、大学生の鋭い質問には専門用語を駆使して応える熱気あふれる交流風景だった。

課題研究は SS、SG 両コース合同で発表

また、７月29日午後には理数科SS（スーパーサイエンス）と普通科SG 両コース３年生の課題研究発表会が合同で行われた。すべて英語の発表会は４グループ（４教室）に分かれて実施され、２年生はどちらでも興味ある方を見学、オンラインで参加した北陸先端科学大学院大学の先生方や留学生から指導や助言をいただき、有意義な発表会となった。

今年も先輩12人招き進路を学ぶ
２年生の「社会人と語る会」

令和２年度の「社会人と語る会」が11月３日、泉丘高校で開かれた。２年生400人を対象にしたこの催しは、各界で活躍する先輩を母校に招いて授業形式で話を聞き進路選択の参考にするもので、今年も一泉同窓会事務局が選んだ12人が母校に参集して講師を務めた。

「語る会」は午後の５、６、７限を利用して２度にわたって行われ、生徒たちは第一志望と第二志望の異なる分野の講師の話を聞いて参考にした。

12教室の教壇に立った先輩講師はプロジェクターを使い、まず自分の職業内容・苦労・喜びなどを分かり易く紹介、次いで生徒たちに考えてほしいことを「問い」として投げかけた。受けた生徒たちは机を移動して４、５人のグループを作って話し合い、グループごとに答えを共有して発表した後にみんなで質疑、応答した。

最後に講師から高校２年生の今何をなすべきかについて話があった。社会に出て働く意義を学び、自分の進みたい分野の職業に就くために大学や学部の選び方、その実現のための勉強の仕方などを考える有意義な機会となった。

母校では今回初めて「語る会」で示された先輩からの提言を『卒業生から学ぶキャリアビジョン　探・究・人』と題する冊子にまとめ、１、２年生全員に配布した。

講師を引き受けたのは次の皆さん。

◆〈公務員・文系〉防衛省航空幕僚監部防衛部施設課管理班長の北川圭野さん（45期）◆〈公務員・理系〉東北大学大学院農学研究科准教授の多田千佳さん（44期）◆〈法律関係〉東京簡易裁判所判事の金子益之さん（37期）◆〈国際関係〉澁谷工業㈱専務取締役米国現地法人CEOの澁谷英利さん（36期）◆〈ビジネスⅠ〉浅井真喜税理士事務所税理士の浅井真喜さん（38期）◆〈ビジネスⅡ〉コマツ開発本部デジタルイノベーション開発センター主幹の土井下健治さん（36期）◆〈ビジネスⅢ〉作曲家／ミッドウエスト音楽出版合同会社代表社員の中西裕之さん（41期）◆〈医療関係Ⅰ〉国立病院機構金沢医療センター放射線科部長の南麻紀子さん（39期）◆〈医療関係Ⅱ〉第一三共RDノバーレ㈱の佐藤昌道さん（42期）◆〈機械・電気・電子系〉NTTコムソリューションズ㈱社長の大土拓さん（38期）◆〈建築関係〉建築デザイナー／共立女子短期大学准教授の堀岡勝さん（40期）◆〈化学・コンピューター関係〉横浜市立大学データサイエンス学部教授の越仲孝文さん（39期）の12人。

北川圭野さん

多田千佳さん

金子益之さん

澁谷英利さん

浅井真喜さん

土井下健治さん

中西裕之さん

南麻紀子さん

佐藤昌道さん

大土　拓さん

堀岡　勝さん

越仲孝文さん

１年生は難関大生16人を迎え
大学の魅力や勉強の仕方学ぶ

また、１年生（10クラス400人）対象のSG探究基礎「先輩に学ぶプレゼン術」も２日午後、東大、京大などの難関大学に進学した卒業生16人を招いて行われた。講師の大学生は各クラスを回って２、３回登壇、現在学んでいる内容やその魅力のほか、高校時代の勉強の仕方にも触れて進路を考えるヒントを与えた。

大学生講師は次の皆さん。

◆東京大学　田川颯人（文科二類、３年）、澤井円香（文科三類、４年）、小熊志歩（文科三類、３年）、田村洸史朗（文科一類、３年）、立浦和奏（理科二類、４年）、篠田和宏（理科一類、４年）、窪田知紘（理科二類、３年）◆京都大学　坂口綺那（文・人文、３年）、鈴見駿（文・人文、４年）、裏野桃子（工・工業化、３年）米田菜々子（農・食料・環境経、３年）◆大阪大学　西尾絵里（外国語・フイリピン、３年）、藤井亜美（外国語・ポルトガル、３年）◆金沢大学　下﨑琳（医薬保険・医学類、４年）、二宮拓也（医薬保険・医、３年）◆富山大学　高比良弥紀（医・医、３年）

金澤 中村屋・日榮醸造元
中村酒造株式会社
代表取締役社長　中村　太郎（一泉同窓会会長 泉丘35期）
本　社　〒920-0867　石川県金沢市長土塀３丁目２番15号
製造場　〒921-8837　石川県野々市市清金２丁目１
TEL（076）248-2435　FAX（076）248-2436

自動車販売・整備
キスモ株式会社
代表取締役会長　林　隆信（一泉同窓会副会長 泉丘22期）
代表取締役社長　林　泰三（泉丘54期）
本社　〒921-8043　金沢市西泉３丁目２番１号
TEL（076）280－4455　FAX（076）280－0657

株式会社 北國新聞社
〒920-8588　金沢市南町２番１号
TEL（076）263-2111

令和2年度

おめでとう一泉賞

1団体、2個人に贈呈

新聞部
松井久和君

加治直紘君

駒形圭吾君

令和２年度の「一泉賞」が３月４日の卒業式で、中村太郎一泉同窓会会長から１団体と２個人に贈呈（賞状とトロフィー、副賞の図書カード１万円分）された。同賞は平成６（1994）年に創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られる。今年度の受賞者は次の皆さん。

◆新聞部　松井久和君が代表の新聞部は、令和元年度の第23回全国高校新聞年間紙面審査賞で第１位相当の最優秀賞に輝いたほか、令和元年と２年に連続して石川県文化優秀賞を受賞した。また、平成27年度から６年連続で石川県高校新聞コンクール最優秀賞を受賞して、石川県を牽引する立場となっている。

◆加治直紘君　３年次の令和２年度、広島県での全国高校陸上大会（全国高校総体の代替大会）の棒高跳で標準記録を突破した28人中９位となった。２年次には茨城県での国民体育大会少年Ａ棒高跳で11位、北信越新人大会優勝、北信越大会で２位となった。

◆駒形圭吾君　化学グランプリ2020に出場して銅賞を受賞。大会は全国1640人が受験、二次選考117人中金賞15人、銀賞22人、銅賞38人だった。２年次には第12回日本地学オリンピックの本選に出場、全受験者1681人中36位。合唱部、文芸部にも所属、才能を発揮した。

グローバルリーダー養成講座

長期留学の５人が体験談発表

グローバルリーダー養成講座の第１弾「グローバル体験報告会」が10月14日の放課後、５階のｉスタジオで行われ、１年余りの長期留学から今春母校に復学した５人が登壇した。１、２年生の希望者48人が出席して将来の参考にした。

プレゼンターを務めたのは１年生の御代田絹江さんで、留学先はイタリア。後の４人はいずれも２年生で松本諒さんはカナダ、松本聡介君、高木瞳さんの２人はアメリカ、谷口瑛美さんはオーストラリア。５人はそれぞれ７分間、体験してきたことや留学を通して考えたことなどを使って発表、５分間の質疑に応じた。

講座の参加者は同年代高校生の海外体験を聞いて視野を広げ、将来における海外での活躍を志すマインドを養成、一方、プレゼンターは自らの体験を整理し、きちんと発表できるように学ぶ機会とした。

辛苦の経験は必ず役に立つ

63期の徳川さん　**カンボジアから諭す**

グローバルリーダー養成講座の第２弾「セカイで活躍する卒業生inカンボジア」が10月20日の放課後、特別教室棟５階のｉスタジオで１、２年生の希望者52人が出席して開かれた。プレゼンターはＪＩＣＡ（国際協力機構）カンボジア事務所の徳川詩織さん（泉丘63期、東大卒）で、生徒たちはどんなことにも全力で取り組む徳川さんの姿勢に感銘を受けた＝**写真**＝。

プノンペンの事務所と母校をオンラインで結んだ講座の第一部には現地職員のソダヴィさんが登場、英語でカンボジアの風土や文化、食べ物、観光名所などを紹介した。その後の質疑もすべて英語で行われた。

第二部では徳川さんが日本語でＪＩＣＡの仕事内容や苦労、やりがい、高校時代とキャリアについて話し、泉丘の後輩たちに①今しかできないこと、ワクワクすることに全力投球で当たってほしい②少しでも挑戦したいと思ったら、すぐ実行せよ③選んだ道は自分で正当化すればよい④辛くて苦しい経験は必ず将来の糧になる―と論した。

KKJ 金沢カッコいい女子の会
代表　大砂　雅子（一泉同窓会 副会長 泉丘26期）
E-Mail : osuna@kanazawa-kkj.jp
H　P : www.kanazawa-kkj.jp

人・愛・信頼の街づくりを…
alice アリス学園グループ
(学)理事長　竹澤　敦子（一泉同窓会 副会長 泉丘29期）
(福)理事長　竹澤　結花（泉丘57期）
〒921-8176 金沢市円光寺本町8-50
TEL(076)280-1001　FAX(076)272-8180

賃貸保証は、次のステージへ。
REGSYS
株式会社レグシス
代表取締役 会長兼社長　玉川　昌範（一泉同窓会 副会長 泉丘31期）
〔金沢支店〕
〒921-8163 金沢市横川7-35-1 ルミエール横川2F
TEL(076)229-7156
〔本　社〕
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-11-2 イートピア岩本町2丁目ビル3F
TEL(03)5835-2423　FAX(03)5835-2201

一泉同窓会だより

コロナ禍で一泉同窓会中止
関西、関東も早々と決める

毎年、創立記念日の10月15日に開催される一泉同窓会の総会・懇親会が中止になった。令和２年度は関西、関東などの地区同窓会をはじめ各期の同窓会も次々と中止が決まり、同窓会と言う名の集いがほとんど開かれない異例の年となった。

早々と中止を決めたのは関西。３月25日の幹事会で６月13日に開催予定の第40回同窓会を中止とした。

関東は10月24日に62回目の総会・懇親会を予定していたが、やはり３月30日の役員会で中止を決めた。東京では３月25日以降、新型コロナウイルスの感染者数が急増、都知事から不要、不急の外出自粛と密閉・密集・密接の３密を受けての処置とした。

本部では５月中旬まで様子を見たものの、コロナ感染は終息の様相を一向に見せず、このままでは準備会も開けないと幹事の泉丘39期と役員会で慎重に協議、やむなく令和２年度開催を中止とした。

令和３年度については今のところ未定だが、本部は39期、関東は41期がスライドして運営に当たる。

母校にマスク1730人分寄贈
泉丘59期の入口さんらが企画

母校・泉丘高校の先生方や後輩たちを新型コロナウイルスの感染禍から守ろうと、泉丘59期の入口瞬さんらが立ち上げた「金沢泉丘高校応援プロジェクト」から贈られたマスクや寄付金で購入した防具を着用した授業が、通常授業開始の６月１日から始まった。

入口さんと同期の中川裕貴さんが４月１日からインターネットを通じて一泉同窓生に寄付を募った。締め切りの５月10日までに寄せられた寄付は101人で59万8996円にもなった。入口さんらは善意の寄付金から１万200枚のマスクを準備、残る23万9956円を一泉基金として５月末日までに母校に届けた。受け取った泉丘高校は全日制と通信制のわけ隔てをせず、「オール泉丘」として活用することにして、マスクは全日制生徒約1200人と通信制同400人、全日制教職員約110人と通信制同20人の計約1730人に分配した。また、寄付金の一部を先生方手作りのフェースシールド15個の材料費やプラスチック製マスク30個の購入代に充てた。

この日、マスクの仕分けに当たった２年生の保健委員・森田芳奈さんと３年生の体育委員・大塚詩織さんは「先輩からの貴重な贈り物に応えるために勉強頑張ります」と答え、笑顔で作業を続けた＝写真＝。

宮本雅春校長は「後輩たちのために１万枚ものマスクを用意していただき感謝している。先輩たちの熱い思いを実らせるために万全の対策で、授業の遅れを取り戻したい」と話している。

トピックス

令和２年度の第72回創立記念祭の前日祭として８月28日に予定されていた「一泉行列」が、新型コロナウイルスの影響で中止となった。雨天で２年続いての中止の後だけに、３年連続の中止は在校生にも同窓生にもショックとなった。

一泉行列、３年続けて中止に

ブラスバンドの演奏に合わせ、校歌や応援歌を歌って本多町の一中校舎跡地前から泉野出町の現校舎まで約４キロを歩く行列は、一中魂を泉丘に受け継ぐ機会としての人気行事。

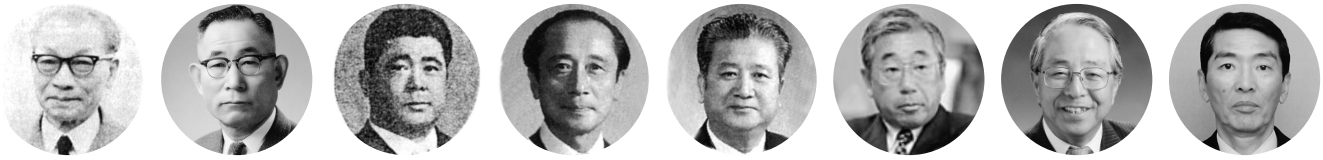
今春卒業の泉丘73期生の多くから「初めての一泉行列を楽しみにしていたのに残念」「高校生のうちに一泉行列をすることができず悲しい」の声が聴かれた。

澁谷工業株式会社
専務取締役 澁谷 英利（一泉同窓会 副会長 泉丘36期）
本社 〒920-8681 金沢市大豆田本町甲58
TEL(076)262-1202 FAX(076)223-1795

株式会社 浦建築研究所
代表取締役 浦 淳（一泉同窓会 副会長 泉丘36期）
取締役専務 鈴野 孝（泉丘22期）
表 尚玄（泉丘52期）、竹橋 理恵（泉丘61期）、谷森 亮太（泉丘65期）
本社 〒920-0964 金沢市本多町3-11-1
TEL（076）261－4131
東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-11
TEL（03）5797－7815
支所：中国大連 営業所：富山

RYOKI
菱機工業株式會社
取締役社長 北川雅一朗（一泉同窓会 副会長 泉丘39期）
取締役 相談役 北川 信重（泉丘21期）
〒921－8626 金沢市御影町10－７
TEL（076）241－1141 FAX（076）244－6888

初代会長	第二代会長	第三代会長	第四代会長	第五代会長	第六代会長	第七代会長	第八代会長
英　安吉氏	越馬徳治氏	宮　太郎氏	渋谷亮治氏	川北　篤氏	小倉周一郎氏	蚊谷八郎氏	清水義博氏
（一中18期）	（一中30期）	（一中51期）	（一中54期）	（一中55期）	（泉丘７期）	（泉丘14期）	（泉丘22期）
S30. 2～38. 10	S38. 10～42. 8	42. 8～60. 10	60. 10～H7. 10	7. 10～11. 10	11. 10～16. 10	16. 10～22. 10	22. 10～R2. 10



一泉同窓会

第二代会長は越馬徳治氏（一中30期）

歴代会長の順、期間を訂正

平成30年３月に発行した会報「一泉」第45号で特集した『一泉同窓会誕生の経緯』の中で示した歴代会長名に、越馬徳治第二代会長（一中30期）の名前が欠落していた。従って英安吉初代会長（同18期）と宮太郎第三代会長（同51期）の就任期間、宮会長以降の代名が間違っていた。令和２年10月、第九代会長に中村太郎氏（泉丘35期）が就任したのを機に、歴代会長名を改めて掲載する。（１ページに関連記事）

越馬氏については先の『一泉同窓会誕生の経緯』取材のため、創刊号からの会報「一泉」や保存されている書類を調べたが氏名や写真が見当たらず、結果的に落としてしまった。その後、別の調査で「金沢一中泉丘高校百年史　前編」の中の「一泉同窓会の結成」の項中228ページに「初代会長英安吉氏の後を越馬徳治氏が受け継ぎ、三代目は宮太郎氏が……」と記述されているのを見つけ、再度会報などを調べ直した。

結果、関東一泉同窓会50年史の中に越馬氏の会長就任事実を示すいくつかの記述がみられた。まず昭和38年９月26日付の会誌に「英会長、辞任の意向」の記事があり、翌39年９月28日付に同年の関東一泉同窓会総会の出席予定者来賓リストに英前会長、越馬会長の名が見られる。さらに41年10月６日の関東総会には英、越馬の二人が出席して秋の一夜を楽しんだとの記事が見られる。そして翌42年９月13日付会誌の関東の創立10周年記念総会の出席予定者リストには会長名は宮太郎氏となっている（同年８月就任）。以上のことや一泉同窓会の規約で会長職の任期は１期２年間となっていることから、第二代の越馬徳治氏は昭和38年10月から42年８月までの２期４年間会長職にあったとみられる。なお、越馬氏の写真は津田駒工業の総務課を通じて越馬家から取り寄せてもらった。

以上のことから一泉同窓会の歴代会長の就任順を整理すると、初代は英安吉氏（一中18期）、次いで二代は越馬徳治氏（同30期）、三代宮太郎氏（同51期）、四代澁谷亮治氏（同54期）、五代川北篤氏（同55期）、六代小倉周一郎氏（泉丘７期）、七代蚊谷八郎氏（同14期）、八代清水義博氏（同22期）、九代目が中村太郎氏（同35期）である。

12人が参列して物故者慰霊祭

一泉同窓会の令和２年度物故者慰霊祭が10月15日午後、母校の厳霜碑前で行われた。今年は新型コロナウイルスの感染防止のため同窓会のほとんどの行事が中止となっているが、亡き同窓生や亡き師の霊を慰める慰霊祭の継続を願う強い声を背景に、同窓会や学校側の代表12人が列席して挙行された。

石浦神社の長谷吉慶宮司が、合祀されている亡き同窓生と教職員約１万600人の霊の安寧と同窓会、学校のますますの発展を願って祝詞を奏上、清水義博一泉同窓会会長、宮本雅春校長ら参列者が順に玉串を捧げて亡き師や級友・先輩の冥福を祈った＝**写真**＝。

代表参列者は次の皆さん。〈同窓会〉清水義博会長、林隆信副会長、至極明子同、笠松寿美子同、普神貴行相談役、諸野普事務局長、中山一郎事務局顧問、泉丘８期福田太睦、同茶屋勝也〈学校側〉宮本雅春校長、岡橋勇侍副校長、米口一彦教頭

北菱電興株式会社
取締役相談役　小倉周一郎（一泉同窓会 相談役 泉丘７期）
代表取締役社長　小倉　一郎（一泉同窓会 副会長 泉丘40期）
本社　〒920－0362　金沢市古府３丁目12番地
TEL（076）269－8500㈹　FAX（076）269－8501

加賀建設株式会社
代表取締役社長　鶴山　雄一（一泉同窓会 副会長 泉丘51期）
〒920－0337　金沢市金石西1-2-10
TEL（076）267－1161　FAX（076）267－1164

カタニ産業株式会社
会長　蚊谷　八郎（一泉同窓会 相談役 泉丘14期）
本社　〒920－0910　石川県金沢市下新町６番33号
TEL（076）263－6111　FAX（076）222－3433
東京・大阪・名古屋・京都・群馬

泉丘44期の多田さんと米林さん
環境学習に役立つ絵本を製作

泉丘44期で東北大学大学院農学研究科の多田千佳准教授が文を書き、同期の米林宏昌アニメ映画監督が挿絵を手掛けた絵本「生ごみからエネルギーをつくろう！」＝**写真**＝50冊が令和２年６月25日、野々市市に贈られた。寄贈したのは同市在住の堀敬亮石川電力社長で、受け取った粟貴章市長（同31期）は市内の７小中学校や児童館、放課後児童クラブなどに配布して、子どもたちの環境学習に役立てた。

多田准教授の専門はメタン発酵の研究。平成23年３月の東日本大震災を機に、「電気が無くてもご飯が炊ける」とあちこちの出前授業で、生ごみから作るバイオメタンの火について話し、興味と理解を得てきた。同時に絵本化でより多くの子どもたちにも伝えたいと考えていた。多田さんから挿絵の相談を受けた米林さんは二つ返事で引き受けて絵本が出来上がった。

ちなみに多田さんと米林さんは泉丘の理数科出身で、３年間同じクラスで学んだ仲。Ｂ５判、32頁の絵本にはメグルちゃんと言う米林さんらしい可愛い女の子が登場、バイオガスを活用する様子が分かり易く描かれている。一方、野々市市在住の堀社長は東京で開かれた「ふるさと交流会」に参加して米林さんから絵本出版の話を聞き、今回の寄贈となった。

また、二人は10月24、25の両日、野々市市の明倫通りなどで開かれた「親子で地域のミライを考えよう」と題するイベントにも出演、トークや大型ボードに得意のイラストを描き、循環型社会の実現を呼びかけた。

ホームページの応援歌３曲甦る
一泉同窓生３人の連係プレーで

普神貴行さん

大久保譲さん

大橋香織さん

一泉同窓会のホームページ「校歌・応援歌･部歌」の欄に掲載されながら、歌詞のみでメロディーのなかった３曲が同窓生３人の連係プレーで甦り、令和２年５月に収録された。

同欄には一中・泉丘の両校歌をはじめ明治26年の母校創立時からの応援歌など24曲が収録されているが､「桜章」と「野球部応援歌」「端艇部部歌」「庭球部部歌」の４曲は歌詞のみでメロディーが無く、一泉同窓会事務局では歌える人を探していた。

令和元年秋、母校の教諭を21年間勤めた普神貴行さん（一中56期で泉丘２期）が「桜章」を歌えることが

分かって録音した。このテープを高校の音楽教諭だった大久保譲さん（泉丘21期）が聞いて譜面を起こして歌詞付＝**写真**＝をし、さらに母校の現役音楽教諭の大橋香織さん(同50期)が１・２年生の合唱部員を指導してCDにとった。幸いにも同窓会事務局が発行する「金沢一中・泉丘高校校歌及び応援歌集」の「野球部応援歌」と「端艇部部歌」の歌詞の末尾に旋律は「桜章」と同じと注釈が付いており、一挙に３曲が解決した。

これで24曲のうち歌声入りが19曲、カラオケが「旌旗は風」「勝鬨」「柔道部部歌」「合唱部部歌」で、まったくメロディーが分からないのが「庭球部部歌」のみとなった。同窓会事務局ではこの歌を歌える人かメロディー資料を持っている人を探している。

MuU
We can create a sustainable society for future generation.
一般社団法人　MuU(漢字表記:無)MuU=Mutual Understanding
理事長　清水　義博（一泉同窓会 相談役 泉丘22期）
金沢市高尾台3丁目127番地
TEL&FAX 076-296-2477

一泉同窓会事務局
事務局長　諸野　普（泉丘22期）
〒921－8517 金沢市泉野出町3-10-10
TEL(076)242－0211　FAX(076)216－5656
E-maii : hiroshi-morono@issen-dousoukai.org

一泉同窓会副会長　至極明子（泉丘34期）
一泉同窓会監　事　広多清一（泉丘29期）
一泉同窓会副会長　鶴見恵理（泉丘35期）
一泉同窓会監　事　西井隆志（泉丘39期）
一泉同窓会副会長　笠松寿美子（泉丘通信制41期）
一泉同窓会相談役　普神貴行（泉丘２期）

本多町校舎の厳霜碑は正面玄関奥・兼六園側に立っていた

厳霜碑移転のため用水路に仮橋が架けられた

「厳霜碑」移転のアルバム

昭和12年９月、金沢一中が金沢市の本多町から富樫町（現泉野出町）に新築移転したが、その直前の新旧両校舎や一中のシンボル・厳霜碑を運ぶ様子が写っているアルバムが令和２年の秋、一泉同窓会に届けられた。83年前の貴重なアルバムを寄贈してくれたのは泉丘23期の吉野克彦さん（同市寺町２丁目）で、大正10年から昭和22年まで一中の体育教師を務めた祖父の吉野勝太郎さん（一中22期、同53年１月死去）が保存していたもの。縦19センチ、横27センチのアルバムには115枚の写真が貼られている。

校旗を掲げ頭を垂れて厳霜碑に別れを惜しむ

碑の前で式典、別れ惜しむ

厳霜碑は明治41（1908）年10月15日（以後この日を創立記念日とする）、日露戦争で倒れた一中卒業生を顕彰するため久田督第三代校長によって校庭に建てられた。本多町校舎の向きは兼六園の方を向いており、正面玄関前には今も残る用水が流れていた。碑の建立場所は正面から少し奥の用水を渡った石浦神社側の小高い所。碑文には「身体の強き者は兵となって国のために尽くせ、弱き物は健康を取り戻して社会のために尽くせ」と謳われている。生徒たちは厳霜碑に向かって敬礼し、年に一度の慰霊祭の繰り返しからいつしか碑は一中生の心の支えとなり、陸士や海兵に進む生徒が多くなっていった。

昭和12（1937）年、現在地に新校舎が完成、厳霜碑も移転することになったが、盛大なセロモニーが挙行されたことが容易に想像でき、写真に表れている。

用水に仮橋を架けて準備を整え、４月11日に「厳↗

制服、制帽にゲートルまきの凛々しい姿で旧校舎を出る移転行列の先導隊

旧校舎前を進む富田、久田両校長像

株式会社 アラキ
ARAKI
石川県知事許可管工事（一般）014837
代表取締役社長 荒木　義則（泉丘36期）
〒921－8034 金沢市泉野町1-17-3
TEL(076)242－2617　FAX(076)247－8426
E-maii k-araki@qc4.so-net.ne.jp

北村労務会計事務所
代表税理士 北村　彰英（泉丘36期）
〒920－0953 金沢市涌波2-14-10
TEL(076)264－0101　FAX(076)264－0103
URL http : //www.kitamura.gr.jp

Liberty
リバティ株式会社
不動産開発コンサルティング
代表取締役 黒川　孝之（泉丘36期）
〒924－0862 石川県白山市安田町36
TEL(076)256－2823　FAX(076)275－5406
E-mail : liberty@libertygroup.co.jp

泉丘23期の吉野さんが寄贈

↗霜碑及び富田初代・久田３代両校長の銅像移転式」が行われた。碑の前に校旗を掲げる２人の生徒、その後ろに校長らしき人と教職員、生徒らが頭を垂れる写真には「厳霜碑に別れを惜しむ」との説明文が付いている。

翌12日には移転行列が行われた。厳霜碑と両校長像は２台の４輪荷車に乗せられ、一中45期の５年生、46期の４年生代表に曳行されて校門を出、47期から49期までの３～１年生が見送った。写真に見るその姿は制服、制帽、革靴にゲートルまきと凛々しい。

旧校舎前に整列して見送る４～１年生

石浦神社前の移転行列。一緒に歩むのは教職員か一般市民か…

生徒は全員ゲートル巻き姿

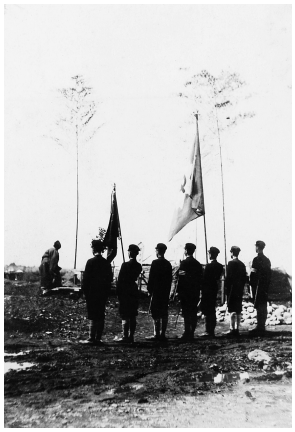
校旗を先頭にした行列は石浦神社前から広坂通り、片町、野町広小路、有松へと粛々と進んだ。待ち受ける新校舎の敷地はまだ荒々しい。到着後の写真には何十人もの生徒たちが綱を持って厳霜碑を引く姿を写したものが数枚ある。３階建ての新校舎屋上から写した写真でその様子が良く分かる。再建立予定地まで運び込んだ後に到着式が行われたのか、整列する生徒や神主が写っている写真もある。

現在、８月末に行われる創立記念祭の前日祭として実施されている「一泉行列」は、この厳霜碑移転ルートを歩くことによって、何事にも負けずに努力する一中魂を泉丘に受け継いでいこうとするものである。

金沢の繁華街片町の「ねずや」前を行く初代富田、３代久田の両校長像

新旧校舎の懐かしい写真も

アルバムには昭和12年頃の新旧両校舎の珍しい写真もある。旧校舎では奉安殿や柔剣道場の養活堂、広場での朝礼体操、校訓朗読の様子が分かる。新校舎では原っぱに堂々とそびえ立つ鉄筋コンクリート３階建て校舎の全景や内部、体育館、講堂など、この校舎で学んだ泉丘32期までには懐かしい写真が多い。



到着を待つ新校舎

まだ荒れた新校舎の敷地に厳霜碑を曳き入れる生徒たち＝屋上から撮影

学校法人 妙源寺学園 妙源寺幼稚園
理事長 園長 源　恭子（泉丘36期）
〒921－8142 金沢市光が丘2-119
TEL(076)298－5533　FAX(076)296－3738
URL http : //www.myogenji.ed.jp

生地・洋裁材料・手芸の店
スタイリストゴトウ
代表取締役 後藤　一陽（泉丘36期）
〒920－0345 金沢市藤江北4-464
TEL(076)267－8889　FAX(076)267－8890
http : //www.stylistgoto.co.jp

医療法人社団杉森医院
杉森クリニック
副院長 医学博士 杉森　尚美（泉丘36期）
〒933－0948 富山県高岡市上四屋3-8
TEL(0766)25－5757　FAX(0766)30－5750
URL : http : //sugimoriclin.byoinnavi.jp/

泉丘４期の中山さん「夫の人生カルテ」特別投稿

泉丘４期の中山登紀子さん（東京在住）＝写真＝から「夫の人生カルテ」と題する投稿をいただいた。大正末期生まれのご主人は一中、泉丘とは何の関係もないが学徒出陣で従軍、敗戦でシベリア抑留を経験、帰国後は専門の土木・建設技術を生かして戦後日本の復興に尽くされた。その生きざまは一中50期前後の多くの同窓生と重なる部分があり、参考までに掲載することにした。なお、登紀子さんは昭和60年に「単身赴任　残された家族の14年」を主婦と生活社から出版、話題となった。本は同窓会にも寄贈され、一泉文庫に収録してある。

学徒出陣敗戦でシベリアに抑留

くにのため　いのちささげし　ひとびとの
ことをおもえば　むねせまりくる

昭和天皇御製碑の御前に進み、千鳥ヶ淵戦没者墓苑六角堂に額ずきます。昭和33年、谷口吉郎氏設計・厚生省造営の納骨堂です。古代豪族の棺を模したとあり、先の大戦に命をささげた240万人は、ほぼ大正生まれの青年です。墓苑の大祭で花嫁姿の老女に会う。結婚式後ご主人は出征、戦死され独身を通してこの日に装うのだそうです。

大正末期生まれの夫は、戦中戦後の世代で、昭和一桁の私は戦いの混乱期の育ちです。夫は学徒出陣で、戦いに駆り出された時、大学で建設機械のシールドマシンの研究中でしたが、敗戦国日本の償いのため、66万人の敗戦軍隊の一人としてシベリアに抑留されたのです。中国の北部から、500キロ余りを歩きづめで、夜は地面に横になり、各自の飯ごうで炊いた飯で命を継いだと語っています。

シベリアでの労働は、零下40度の極寒の中で太オノやノコギリを担ぎ、大樹の伐採の重労働で体力つきて倒れ、６万人以上もが生きて日本への帰国が叶いませんでした。４年余り抑留の後で、夫は帰国できましたが、先ず敗戦国日本の惨状にぼう然となりました。東京砂漠とまで言われた水不足、戦争孤児が上野駅にあふれ、道路、鉄道、国土の荒廃でした。

20代の夫たち青年は、直ちに水確保のダム建設に挑み、四国山中の吉野川ダムをはじめ、関東で相模湖ダム、城山ダム建設に邁進したのです。この頃に私たちは家庭を持ち、赤子幼児づれで山奥のダム工事現場で暮らしました。やがて東海道新幹線のトンネル工事に従事、東京に移って地下鉄工事につき、ようやく専門のシールド工法で実力発揮となりました。シールド工法は160年前に、ブルーネルがふなくい虫からヒントを得たと言われています。イギリスのテームズ河底の掘削に、この二枚貝が自分の体から出した石灰質の液で固めて進むのを見て感心したそうです。

単身赴任14年、戦後復興に尽くす

昭和39年、日本では地下鉄東西線で初めてシールド工法が行われました。直径10メートルの筒形の巨大ジャッキーを押し進めて掘削後を固定する画期的な工事です。所長である夫は、水が噴出する悪条件下、チーム一丸となって苦闘の末に見事成功させました。

同45年、大阪地下鉄工事のガス爆発事故は、新聞に「さながら地獄のよう」とあり、死傷者400人近い大参事でした。旧式の開削工事で400キロのコンクリート舗板が、通行人もろとも吹き飛ばしたのです。

さっそくシールド工事が採用され、夫は大阪へ転勤となりました。シールド工法技術士の夫は所長に任命され、大阪地下鉄谷町線、御堂筋線から阪神高速道路などに次々と工事が拡張され、とうとう単身赴任が15年に及び、定年になってようやく帰宅となりました。

過酷な人生を振り返り、一番苦しかったことはと夫に聞くと、食べるものがなかったことと答え、シベリアで空腹のあまり馬糞の中から豆かすを拾ったと言うのです。戦中に子供だった私も空腹の辛さは忘れられません。店に食べ物が溢れている現代の子供たちには実感がわかないと思います。

とまれ、戦後令和の今日、日本国は世界でも類を見ない最高級国の素晴らしさです。その誇りは私ども二人の共通の喜びでもあります。

株式会社 ほくつう
取締役 管理本部長 高宮　一朗（泉丘36期）
〒920－8515 金沢市問屋町1-65
TEL(076)238－1111　FAX(076)237－1440
https : //www.hokutsu.co.jp

建築・土木　設計・監理
株式会社 エム・ティ・プラン
1級建築士事務所
代表取締役 玉谷　憲恭（泉丘36期）
本社　〒920－0841 金沢市浅野本町2-17-22
TEL(076)252－4310　FAX(076)252－4305
http : //www.mt-plan.com

氷見司法書士事務所
司法書士 氷見 勇人（泉丘36期）
〒921-8011 金沢市入江2-54 中村ビル４階
TEL(076)292-1516
FAX(076)292-3868

投稿二題

一泉同窓会開催を待ち望む

泉丘36期　茶谷　美雪

令和２年、新型コロナウイルスは人々から自由な移動や交流の機会を奪ってしまいました。私が楽しみにしていた東京オリンピック、そして一泉同窓会も無くなり、イベントはほとんど全てが延期となりました。オリンピックの開催は日本中を熱気で沸き返らせ、観戦チケットに外れた私も連日テレビの前で熱くなっていたはずでした。また10月の一泉同窓会では、多くの級友との再会や、千人規模の老若男女の参加者が母校を懐かしみ旧交を温めるひと時を楽しみにしていたので、仕方ないとはいえ本当に残念でした。

４年前、私たち36期は一泉同窓会の運営幹事を経験しました。10数回の準備会のため母校に通っているうちに心はいつしか高校時代にタイムトラベル。苦労よりも集まることが楽しくなりました。本番当日の受付では、各期の人たちから「〇〇さんは来ている？」と尋ねられたり、「お久しぶり！元気やったか？」といった会話を目の当たりにして、大勢の方が本当にこの同窓会を楽しみに出席されているのだと言うことを実感しました。世話役の仕事は正直大変でしたが達成感もあり、私にとって一泉同窓会は今まで以上に身近なものになりました。

同窓会は、懐かしい友との会話から頑張っている様子をうかがい知ることができ、元気と刺激と勇気をもらえる場所です。言い換えれば、高校時代の若さのエネルギーが得られ、アンチエイジングや脳の活性化にも繋がる貴重な時間だと感じています。今度は私自身も元気を発信したいという思いから、新たなチャレンジを心掛ける前向きな気持ちも芽生えています。

ところで、私を元気にしてくれるものに花の存在もあります。コロナの影響で習っている華道のお稽古がお休みになり、華展も中止になりました。お稽古で生けた花を持ち帰って飾る玄関や部屋から花の姿が無くなり、何ともわびしい気持ちになりました。花は綺麗な色合いや姿・形という見た目の美しさだけでなく、花自身が持つ生命のエネルギーによって、私たちを元気づけ癒してくれていたのだと改めて気づかされました。何気なく生ける花にもその命を頂いているということに感謝し、これからも花との出会いを楽しんでいきたいと思いました。

新型コロナの影響が今後どうなるかまだ先は見通せませんが、夏にはオリンピックが無事に開催され、そして秋には待ち望んだ一泉同窓会にみんなが元気な顔で集まり、また新たなエネルギーを充電させてもらえることを願っています。

投稿二題

マラソン人生で健康を培う

泉丘12期　武藤　彰

昭和16年生まれの私は、80歳目前の今でも至って健康である。それは30歳半ばから続けているマラソンのおかげで、健康な身体を維持できた結果と思っている。今の世は多くのことが自動化、機械化され、筋肉を使って汗をかくことが少なくなった。だから自ら欲して体を鍛えない限り、人は廃用性萎縮と言うメカニズムによって老化の速度を速めることになる。ますます若年化する生活習慣病に対抗できる処方箋は「健康マラソン」以外にない、と言うのが私の実感である。

昭和51年、大手家電メーカーの技術者だった私は健康維持のためにと軽い気持ちで走り始めた。半年もするとストレスが吹き飛び、ダイエットにも成功、それ以来、雨の日も風の日も１日10キロのランニングを欠かさず、走ることが大切な習慣となり生きがいとなった。さらに同60年、44歳でハワイ・ホノルルマラソンに初出場。42.195キロの完走後に得た「達成感」に魅せられ、マラソンのとりこになって世界８大陸をフルマラソンで制覇しようと決心して、それを成し遂げた。

北米大陸ではニューヨーク・ボストン・シカゴ、南米大陸ではサンパウロマラソン、ヨーロッパではパリ・マドリード・ロンドン・アテネ、オセアニアではニュージランドマラソン、アジアではバンコク・ソウル、アフリカではエジプトカイロマラソン、南極では南極大陸マラソン、ユーラシアではユーラシア大陸マラソンなどを走りぬいた。さらに68歳の平成22年６月にはノルウェーで開かれた北極圏ミッドナイトサンマラソンに出場、北極、南極両極の名の付く大会を完走、同時に地球２周８万キロ走破の快挙を記録した。

一方、国内でも東京マラソン、大阪マラソンなど有名大会にほとんど出場。47都道府県で開催されるフルマラソン大会をすべて完走する「国盗りマラソン」を、ふるさとの金沢マラソンで成し遂げた。

私のマラソン人生にはもう一つ付録がある。初めてのホノルルマラソンで出場者が楽しそうに話しているのを見て、英会話の大切さに気付いた。毎朝５時半に起き、トレーニングで走りながらラジオの英会話を聞いて猛特訓、少しずつ話せるようになった。そうなると海外に行くのが楽しみになり、世界中を安く旅して回っている。バックパックを背負ってユースホステルに泊まり、時には自炊をしての節約ツアー、得意の英語を駆使しての放浪の旅。自力本願、自己責任の精神で自分自身で考えて行動すれば世界中どこでも歓迎される。

グローバル支援策を充実

130周年事業　準備委から実行委へ

令和５年（2023）10月に迎える一泉創立130周年記念事業の準備委員会（清水義博委員長ら20人）は同３年１月28日、金沢市のニューグランドホテルで５回目の会合を開き、事業・行事案、予算案の成案を得て解散、６月中にも新しい委員による実行委員会を立ち上げ、実施具体策に向け前進することになった。

同窓会事業の目玉はグローバル人材教育支援基金の募集。この事業は令和元年10月から先行実施しているが、新たに寄付金を募って基金を充実させ支援財源の安定化を図る。２番目は校庭の桜の植え替え事業。創立150周年まで４期に区分した継続事業とする。周年継続事業としては部活動用バス２台とワゴン車１台を寄贈する。

学校・同窓会の共催事業として新たに取り組むのはグローバルシンポジウム。基調講演と海外活動経験を有する同窓生５人ほどによるパネルディスカッションを行い、全生徒及び同窓生が参加して母校のグローバル教育支援策の一環とする。

これら記念事業の実施予算案は約5000万円で、全て同窓生の善意の寄付で賄うことにしている。

トピックス

泉丘30期泉心会恒例のゴルフコンペが11月23日、片山津カントリークラブ西コースで開かれた。前年の還暦コンペは19名の参加だったが、今回はコロナ禍で地元の精鋭？のみ６名が集結した。

「コロナなんか吹き飛ばそう」と熱気あふれる

泉丘30期がコロナ飛ばすゴルフ大会

闘志でスタートしたが、過酷な冷雨と風の悪条件には勝てず全員惨敗だった。マスクをしての表彰式で、令和３年度は20名以上の参加を期待して終了となった。

成績はゴルフ幹事の私・藤邑がNET：75.8で優勝、準優勝は横田雅裕君でNET：79.0、３位は中川敏之君でNET：79.8。　（藤邑宏克・記）

文化・運動部 OB 会だより

新会長に能崎晋一さん（泉丘35期）

一泉野球部 OB 会が総会

新型コロナウイルスへの感染防止に万全を期して一泉野球部 OB 会の第23回総会が７月18日、ANA クラウンプラザホテル金沢で会員38名が出席して開かれた＝**写真**＝。総会では全員がマスクを着用、“３密”を避けるなどの対策を施す中、高田直人会長（泉丘28期）が議長に就き、令和元年度の事業報告と決算、並びに同２年度の事業計画、予算案を承認、有志の協力もあって石川県高等学校野球連盟に今夏の独自大会への支援金を贈ることが承認された。

また、役員改選では高田会長から能崎晋一さん（同35期）へ会長を引き継ぐことが決まった。能崎新会長は就任のあいさつで、夢の実現に向けて行動することを所信とする旨を表明、来季の2021年には母校が68年ぶりに甲子園に出場、勝利すると言う願いを込めた映像を作製・披露して想いの強さを示した。

懇親会では母校の宮本雅春校長、寺口結野球部監督、道下一哉野球部部長（同58期）を来賓に迎え、宮本校長から祝辞、寺口監督から野球部の近況報告があった。続いて山崎昭一郎さん（同４期）の発声で乾杯して酒宴に入った。宴席では宮村栄一さん（同19期）の叙勲受章（瑞宝中綬章）を皆で称えた。

最後に母校活躍のため支援の輪をさらに広めることを誓い合い、高らかに校歌を斉唱、宮地治元会長（同23期）の閉会のあいさつで散会した。

株式会社 松浦電弘社
代表取締役社長 松浦　隆弘（泉丘36期）
茶木布美子（泉丘36期）（旧姓 石地）
笠嶋　由美（泉丘51期）（旧姓 山田）
〒921－8809 石川県野々市市二日市1-76
TEL(076)248－2974　FAX(076)246－6468
URL　https : //m-denkosha.co.jp/

弁護士法人 米澤・宮前法律事務所
弁護士 宮前　悟（泉丘36期）
事務所　〒920－0912 金沢市大手町9-8
TEL(076)222－3355　FAX(076)222－3359

金沢新神田法律事務所
弁護士 村上　久幸（泉丘36期）
〒921－8013 金沢市新神田4-8-5 村上コーポ１Ｆ
TEL(076)292－2122　FAX(076)292－2123

全力で戦えと後輩たちに激励金

一泉野球部 OB 会の能崎晋一副会長（泉丘35期、この時点では副会長）と結城一隆幹事長（同42期）が７月17日、母校・泉丘高校のグラウンドを訪れ激励金を贈って現役選手たちを励ました＝写真＝。

例年は夏の甲子園・県大会に向け、保護者会主催で激励会が開かれているが、今年は新型コロナウイルスの感染防止のため大会そのものが中止となったため、OB 会単独での選手激励となった。

能崎副会長は「コロナ禍のため甲子園大会は中止となったが、石川県独自の大会が開かれるので、野球が出来る喜びを感じ全力プレーを期待する」と述べた。

なお、昨秋ベスト８の泉丘はシード校として県夏季大会出場、23日に小松・弁慶球場で金沢高校と対戦したが、残念ながら０対９で七回コールド負けした。

県高野連に運営費12万円を寄贈

一泉野球部 OB 会の能崎晋一会長が７月24日、石川県夏季高校野球大会が行われている県立野球場を訪れ、県高野連の佐々木渉理事長に大会運営支援金12万円を贈った。

新型コロナウイルスの感染防止で中止になった金沢市高校野球 OB 大会の参加費用に会員の志を合わせたもので、能崎会長は「野球に打ち込む高校生にプレーの機会を与えていただき感謝している」と述べた。

野球部 OB 会　新年早々に激励講演

一泉野球部 OB 会の能崎晋一会長（泉丘35期）が令和３年１月４日の午後に母校を訪れ、大会議室でこの日初練習を行った現役部員やマネージャーら26人に向けて「夢に向かって！最高のチームで最高の夢を！」と題する講演を行って新年早々の激励を行った。

目標に向かって継続して練習に取り組むことの大切さを諭し、医学的な観点や脳科学に基ずき、夢をより明確にイメージすることを偉人の言葉や実例に沿って分かり易く説明した。

現役生たちが今夏に泉丘として58年ぶりに甲子園に出場し、さらに68年ぶりに勝利する姿を結城一隆副会長（同42期）が映像化して見せ、この夢に向かって努力しょうと訴え、頑張ろうと誓い合った。

（以上土倉拓樹＝泉丘45期・記）

一泉桜美会美術展にぎわう

在校生も39人が出展花添える

金沢一中・泉丘高校卒業生の美術愛好家らでつくる「一泉桜美会」の美術展が12月８日から13日まで、金沢21世紀美術館の市民ギャラリーで開かれ、大勢の同窓生や市民が鑑賞に訪れてにぎわった。48回目の今回は会員39人が56作品を出展、在校生も昨年の倍以上の書22人、写真３人、美術14人の39人が１点ずつ出展してにぎわいに花を添えた＝写真＝。

作品は書、油絵、日本画から篆刻、刻字、木彫刻、陶芸と多彩に並んで訪れた人の目を楽しませた。また、これまで多かった油絵14点に対し、写真が18点と多くなったのも特徴。期別では泉丘18期が９人も参加、18点を出品して話題となった。

桜美会は例年、春に小品展と年２回の美術展を開催しているが、令和２年度はコロナ過で春の展覧会は中止となった。

クリーニング 白整舎
常務取締役 村本真佐美（泉丘36期）
本社／〒921－8001 金沢市高畠3-91
TEL(076)291－1650 FAX(076)291－1695
URL : http : //www.e-hakuseisha.com

加賀野菜 盛旬野菜 よこい青果
代表取締役 横井 良治（泉丘36期）
〒920－0905 金沢市上近江町50
TEL(076)232－2235 FAX(076)262－3444
URL http : //www.yokoi-seika.amsstudio.jp

医療法人社団 仁生会
渡辺耳鼻咽喉科医院
院長 渡辺 宏（泉丘36期）
〒921-8815 野々市市本町4-9-12
TEL(076)246-3331 FAX(076)246-3387

母校・泉丘高校だより

新型コロナで２度も学校休業

夏休みに通常授業、遅れ挽回

令和２年度の母校・泉丘高校は授業も学校行事もすべて新型コロナウイルスの感染防止との戦いだった。その概略を紹介する。

最初に学校が休業になったのは３月２日から春休み前の22日まで。３日には72期生の卒業式が行われたが、簡略化で約１時間で終了した。

令和２年度の新学期は４月８日から。前日の７日に国が緊急事態宣言を発表。８日は県の指導で午前中に始業式、午後に新１年生の入学式が行われたものの、翌９日から再び学校休業となった。その後感染者減で５月14日に緊急事態宣言が解除され、20日から分散登校、６月１日から学校再開、通常授業開始となった。

この間、母校の先生たちは生徒が生活リズムを壊さないよう、オンラインで朝礼情報を提供、各教科の授業配信を続けて通常の時間割通りの学習指導に努めた。その動画配信数は約460本にのぼる。

さらに、授業に遅れがないよう４つの「挽回策」を実施した。その第１弾が３年生の放課後補習（60分の８限目授業）で、６月３日から開始した。第２弾は全学年対象の土曜補習。これまでの月１回を２回にした。第３弾は夏休み中の授業実施。昨年は７月末まで全学年で午前中だけ補習授業を行っていたが、２年度は月～木曜は７限、金曜は６限と通常授業を行い、３年生は放課後授業にも取り組んだ。第４弾はお盆明け授業の実施で８月17日から21日まで、お盆前と同じように取り組んだ。

創立記念祭も短縮、見学にも規制

また、８月29日から３日間で開く予定だった創立記念祭は２日間に変更して９月４、５日に行われた。２年生の模擬店と１年生のクラス展示は４日のみで、一般だけでなく保護者、OB の来校も禁止、生徒のみの参加となった。５日には野外劇が行われたが、見学できたのは３年生の保護者のみで１家族２人まで。しかも子どもの演技時間だけ見学の厳しい規制だった。

トピックス

石川県は2020年の優良部活動指導者に中高の教職員５人を選び、３月18日に県庁で表彰式を行った。全国大会で優勝、上位入賞した生徒の指導者が対象で、母校・泉丘

谷口新聞部顧問に優良指導者賞

高校から新聞部顧問の谷口豊教諭（泉丘29期）が選ばれた。谷口教諭の受賞は３回目。

泉丘高校新聞部は昨年、全国高校総合文化祭最優秀賞を受賞したほか、全国高校新聞年間紙面審査賞最優秀賞にも輝いた。

情報実習室からオンラインで教科の授業配信をする教諭

台湾も沖縄への修学旅行も海外研修の訪米も全て中止

新型コロナウイルス禍で修学旅行も中止になった。２年生の８クラス320人は10月６日から９日まで３泊４日で台湾へ修学旅行、大先輩の八田與一技師（一中11期）が築いた烏山頭ダムを見学したり、姉妹校の台北・建国高級中学校と交流する予定だったが、コロナ禍で海外行きを中止した。また、修学旅行に参加せず、10月５日から12日まで科学研修で訪米予定の理数科２年生40人と、海外研修で別コース訪米予定の SG コースの同40人も中止になった。

その代わりとして明けて令和３年１月末に２年生全体での沖縄３泊４日の修学旅行が準備されたが、残念ながら再度の感染拡大でこの計画も中止となった。

同窓会幹事代行承ります。
TEL 0120-953-070
受付時間　月～金 9:30～12:00／13:00～17:00
同窓会のトータルプロデュース企業
株式会社 サラト

確
株式会社 橋本確文堂
取締役会長 橋本勝郎
（泉丘12期）
金沢本社 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10
TEL : (076)242-6121　FAX : (076)243-7945
東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12
TEL : (03)5472-7030　FAX : (03)5472-5101
www.mba.co.jp

令和２年度一泉文庫寄贈・購入本

書　　名	著　　者	購入・寄贈者
沢田幸平　中山登紀子・父と娘デュエット集　鮴の街	中山登紀子（泉丘４期）	寄贈・中山登紀子（泉丘４期）
須摩洋朔吹奏楽六十年	中山登紀子（泉丘４期）	寄贈・中山登紀子（泉丘４期）
T.S.エリオットの詩と真実	輪島士郎（泉丘７期）	寄贈・輪島士郎（泉丘７期）
藤井　武全集　第一巻～十巻	藤井　武（一中 11 期）	寄贈・輪島士郎（泉丘７期）
女性作家は捉え返す　女性たちの物語	西田谷　洋（泉丘 37 期）	寄贈・西田谷　洋（泉丘 37 期）
ダーリンはフランス人、しかもシェフ！	東野理実子（泉丘 36 期）	寄贈・東野理実子（泉丘 36 期）
歌手・作曲家　乙田修三のあゆみ　歌と出逢いに恵まれて	乙田修三著、加茂谷慎治（泉丘 34 期）編集・写真・デザイン	寄贈・加茂谷慎治（泉丘 34 期）
金沢おいしいパン屋さん	加茂谷慎治（泉丘 34 期）	寄贈・加茂谷慎治（泉丘 34 期）
金沢カフェ散歩	加茂谷慎治（泉丘 34 期）	寄贈・加茂谷慎治（泉丘 34 期）

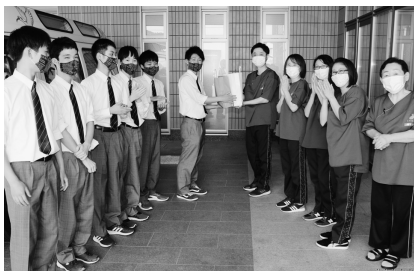
グラウンドにLED灯10基設置

○…泉丘高校のグラウンドに1000ワットのLED灯が10基新設され、令和３年度新学期から点灯された。学校側の意気な計らいに部活の生徒たちは練習に一段と熱が入っている。

○…野球部バックネット上の水銀灯４基がLEDに取り換えられたほか、サッカー部用に県道側に４基新設、ハンドボール部用とテニス部用にも各１基ずつ設置された。

○…LED灯は明るくて消費電力が少なく、長持ちする。そのうえ部活の成績が上がれば一石四鳥だ。

生徒会が施設に手製マスク贈る



母校・泉丘高の生徒会は６月３日に、金沢市円光寺３丁目のデイサービスセンター「朱鷺（とき）の苑円光寺」に手製の布マスク120枚を寄贈した＝**写真**＝。

同施設と母校は以前から吹奏楽部が演奏慰問に訪れるなどして交流がある。今回は新型コロナウイルス感染防止のためのマスクが不足していると聞いてマスクを贈ることにした。上田琉人会長、山崎駿希、廣瀬海凪両副会長、北川修太朗、三谷裕希両書記、橋本空会計の男子ばかり６人が４月から自宅で手作り制作していた。マスクは施設を利用する約70人に配布された。

活躍する後輩たち

一中・泉丘の校章や校是入り

男子卓球部　新ユニホームで３位

一中・泉丘の校章などが入った新しいユニホームを着て令和２年度の新人大会に臨んだ泉丘の卓球部（１・２年生男子15人、女子８人）は、男子団体戦で３位になった＝**写真**＝。

新しいユニホームは黒地で胸に校是の「心身一如」をデザイン化して入れ、背面にスクールカラーの緑で金沢泉丘の校名、さらに右袖に校名と一中、泉丘の校章、その下に「一泉魂」と緑色文字で謳っている。泉丘生が一中の校章入りユニホームを着るのは珍しい。顧問の杉本親祐教諭がデザインしたもので「今年は創立127周年。選手には伝統と校是を意識して戦ってほしかった」と話している。

卓球の新人戦は11月12日、いしかわ総合スポーツセンターで行われ、泉丘男子は２回戦で金沢西に３－０、３回戦で小松に３－０、準々決勝で七尾東雲に３－１で勝ち、準決勝で金沢学院に０－３で敗れたものの、３位決定戦で桜丘を３－２で下した。

金沢滞在を、真の金沢体験へ。
ANA CROWNE PLAZA
AN IHG HOTEL
KANAZAWA
ANAクラウンプラザホテル金沢

一期一縁のおもてなし。
〒920-0853
石川県金沢市本町2-15-1(JR金沢駅兼六園口前)
TEL 076-234-1111(代)　www.hnkanazawa.jp
ホテル日航金沢
hotel nikko kanazawa

東大に13人、京大に26人合格（2年度前期）

東大、京大など国公立大学の令和２年度入試前期合格者が３月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に13人（現役８人）、京大に26人（同17人）が合格した。京大の合格数26人は過去２番目に多く、現役合格者のうち１人は特色入試による合格である。

東大と京大の難関２大学の合格者数を他高校と比べてみると、石川県内では今年度も金大附属（東大６人、京大６人）、小松（東大３人、京大３人）、二水及び錦丘（東大１人、京大１人）、七尾（東大１人、京大０人）を大きく上回った。

富山県では富山中部（東大20人、京大６人）、高岡（東大10人、京大４人）、富山（東大６人、京大１人）だった。

泉丘はその他の難関国立大でも阪大23人、名大17人、東北大12人、神大12人、北大、九州大各５人、東工大４人と健闘した。

また、地元の金大には72人（現役66人）が合格、うち医学部医学科は10人（同７人）だった。なお、国公立大学医学科全体の合格者は13人（同９人）だった。

１年の紺谷君が計算検定「３冠」

泉丘高校１年の紺谷俊太君（野々市市）＝**写真**＝が、昨年９月に行われた全国珠算教育連盟のフラッシュ暗算検定で、最高位の10段に合格した。別種目の暗算と珠算でも10段を取得しており、石川県内初の「３冠」達成者となった。

フラッシュ暗算はモニター画面に数秒おきに映し出される３桁の数字15個を暗算して正確さを競うもので、30門中28問以上正解しないと合格しない。

登山部が新人戦３連覇達成

泉丘高校登山部は９月17、18日に白山山系で行われた新人大会で３連覇を成し遂げた。出場選手は２年生の村山舜部長と平田慶君、１年生の上田舜君、野畠大鼓君の４人＝**写真前列**＝。

新型コロナウイルスの感染再拡大で３日間大会が２日間に短縮されて競技内容が減少、100点満点中泉丘は86.5点で、２位の野々市明倫とは0.2点の差、３位の二水とも僅差だった。

目下４連勝中の県高校総体の令和２年度大会はコロナ禍で中止となったが、村山部長は「新人戦での反省点を踏まえ気を抜くことなく練習を積んでもっと力をつけ、令和３年度の総体は５連覇を目指す」と語った。

生物学五輪　北野君銀、井上君が銅賞に

生命の持つ面白さや不思議さを堪能しながら、生物学の知識を競う「日本生物学オリンピック2020」が昨年暮れに行われ、泉丘１年の北野宏史君＝**写真左**＝が銀賞に、２年生の井上祥佑君＝**写真右**＝が銅賞に選ばれた。

昨年11月１日に行われた一次試験（予選）は、新型コロナウイルスの感染防止に対処してオンラインで行われ、全国で1566人が参加、120人が一次を突破した。12月20日の二次試験は各地区に分かれて行われ、北陸３県は泉丘高校で試験が行われた。結果、泉丘の２人は金賞（全国で15人）を逃したが、北野君は銀賞16人、井上君は銅賞29人の中に選ばれた。

〈編集後記〉

令和２年度も後輩の泉丘生たちは大学進学や各種大会に頑張りを発揮した。その要因はどこにあるのだろう―と考えた時、母校が取り組む７限授業の効果も忘れてはならないと思った。

平成14（2002）年、文科省はゆとり教育の一環として週休２日制を施行、土曜日の学校は休みになった。泉丘はすかさず休みの土曜日を活用した土曜スクール（補習授業）を月に１～２回実施、また火・水・木の３日間を７限授業日とした。さらに翌15年には理数科を月～木の４日間７限とし、16年度には学校全体の制度にした。泉丘はこの時から無くなった土曜日の４限を月から木曜日に振り分け復活させ、今日まで続いている。当時の教務の知恵？に舌を巻くが、我々先輩から見ると黙ってついてきている生徒たちも立派である。

新型コロナ禍に見舞われた令和２年度は、学校休業で失われた時間を挽回するため、夏休み中も７限授業が行われた。コロナの終息はまだ見えないが、令和３年度も後輩たちは頑張ってくれることだろう。（N）

「一泉」編集室
中山一郎（泉丘10期）　小林弘子（同12期）
藤原　励（同23期）　加茂谷慎治（同34期）
東野理実子（同36期）
題字・普神貴行（一中56期・泉丘２期）